

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 30 日 (2020.7.30)

【公開番号】特開 2018-10867 (P2018-10867A)

【公開日】平成 30 年 1 月 18 日 (2018.1.18)

【年通号数】公開・登録公報 2018-002

【出願番号】特願 2017-125183 (P2017-125183)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 16 日 (2020.6.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有機化合物又は有機金属錯体を発光材料とし、
前記発光材料とホスト材料とを含む発光層を有する発光素子の作製方法であって、
前記発光層は、前記発光材料と前記ホスト材料とを共蒸着することにより形成し、
前記発光層を成膜する際に、共蒸着を行う蒸着室内の全圧に対する二酸化炭素の分圧の
比率を大気中より大きく保ながら蒸着を行う、発光素子の作製方法。

【請求項 2】

請求項 1 において、
前記発光層を成膜する際に、共蒸着を行う蒸着室内の全圧に対する二酸化炭素の分圧の
比率が 0 . 1 % 以上である、発光素子の作製方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は請求項 2 において、前記発光層を成膜する際に、共蒸着を行う蒸着室のチ
ャンバー内の全圧に対する二酸化炭素の分圧の比率が 0 . 1 % 以上 1 0 % 以下である、発
光素子の作製方法。

【請求項 4】

請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項において、
前記蒸着を行う際、前記発光層が成膜される基板を冷却する、発光素子の作製方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか一項において、
前記発光層に、さらにアシスト材料を含む、発光素子の作製方法。

【請求項 6】

請求項 5 において、前記発光材料がイリジウム錯体である、発光素子の作製方法。